P場的な学習過程で生徒が変わる。

當山 哲也





《体験学習のPO INT》

- 1.体験を通して、自分自身の言動や周りの友達の言動について気づかせていく。
- 2. 体験 指摘 分析 仮説化 円環的な学習過程で振り返りをすると効果 が上がる! ただ、やらせるだけではダメ!
- 3 . 専門的な技能を持った人を講師にすると生 徒の関心が高まる。不登校生徒にとっても抵 抗感が少ない。

体験

様々なフィールドで活動する



仮説化

分析し考えたことを基にして、 次の機会にはどのような行動を とるか、自分なりの仮説を作る



自分やグループについて、見 たこと、感じたこと、気づい たことをピックアップする



これが実際に 生徒が振り返っ たものです!



分析

集まった事柄から、そのような ことが起こった理由をつきとめ ることで、自分やグループの問 題点を考える



体験 3人 1組でそばづくり



仮説化 友達に対し、あま り自分の先入観 を持たないで作業に取り組もう。

指摘 君がふだん の様子とは違っ てテキパキ動い ていた。



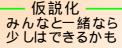
分析

先入観をもって友達のこ とを見ているかも。



体験

5名の生徒が参加して の茶道体験





正座はつらかったけ ど我慢して、真面目 に取り組んだ。



分析

<mark>一人なら我慢しなかったか</mark> もしれないけど、みんなで 同じことをやったので我慢 できた。



こんな体験学習をやりました!







そば打ち

尾瀬散策

《体験学習の成果》

コミュニケーショ ンの向上 交友関係の広がり 不登校生徒の学校 や友達への関心 保護者の学校への 関心の高まり

赤字は不登校・不登校傾向生徒対象の 「ほっとルーム」の活動です